

# ごあいさつ



経営管理委員会会長  
中川 泰宏



代表理事理事長  
井尻 稔

みなさまには、日頃よりJAバンク京都信連をお引き立ていただきまして厚くお礼申し上げます。当会は、昭和23年の設立以来、農協連合会として府内JA信用事業を支援する立場から地域農業・関連産業への貸出、有価証券、預け金などの運用により会員への還元と地域の発展に貢献することを使命としてまいりました。

この冊子は、当会の経営方針、経営内容を取りまとめ、利用者のみなさまに平成21年度業務内容を中心に当会の考え方をよりご理解いただくため作成いたしました。

平成21年度の金融情勢につきましては、日銀による金融緩和策の継続を受け、長短金利は低水準で推移しました。また、「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」が施行されるなど、金融機関には中小企業者等への一層の金融支援が求められることとなりました。一方、農業情勢については、農業従事者の高齢化や担い手不足が益々深刻化するなかで、異業種からの農業参入が増加するなど、農業が新たな雇用の受け皿としても期待されるようになりました。また、政権交代により「個別所得補償制度」の導入に象徴されるように農業政策が変わったこともあり、農業を取り巻く環境は転換期を迎えようとしています。

このような状況の下、当会は地域農業の振興と担い手育成のため農業金融機能の拡充に取り組むとともに、食農教育イベントや少年野球教室を開催するなど、子供たちとのふれあいを通じて地域・利用者との絆の強化に努めました。

「JAバンク京都」がこれまで以上に強固な経営基盤を持ち、組合員・利用者から一層支持され選ばれる地域金融機関であり続けるよう、当会役職員一丸となって努力してまいりますので、今後とも格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年7月

京都府信用農業協同組合連合会  
経営管理委員会会長 中川 泰宏  
代表理事理事長 井尻 稔